

弘前脳卒中・リハビリテーションセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

| | | | |
|--|--|--------------|------------------|
| 1. 研究課題名 | 弘前地区中小病院におけるDASC-8を使用した血糖管理目標達成率と要因の検討 | | |
| 2. 対象患者 | 65歳以上の血糖降下薬使用患者（血液透析施工中やESA製剤使用中、他院からの転院患者は除く） | | |
| 3. 対象となる期間 | 2019年10月10日 ～ 2020年2月15日 | | |
| 4. 実施診療科等 | 制限なし | | |
| 5. 研究責任者 | 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 薬剤師長 鳥谷部 翔 | | |
| 6. 共同研究機関 （共同研究機関 研究責任者） | 弘愛会病院 | 上田 寿夫 | |
| | 鳴海病院 | 吉川 知宏 | |
| | 弘前中央病院 | 横山 智士 | |
| 7. 研究の意義 | 2015年の報告では低血糖入院死亡のリスク因子としては男性、高齢、病床数の少ない病院、大学病院ではない病院、低体重（BMI 18.5以下）、入院時昏睡状態、合併症が多いことなどがあった。このことから当院を中心とした大学病院以外の病院によりDASC-8を使用することによりカテゴリー分類し、高齢者の血糖管理と使用薬剤を把握することで今後の糖尿病薬物療法をより安全に行えると考える。 | | |
| 8. 研究の目的 | DASC-8に基づく高齢者糖尿病の血糖コントロールの現状とコントロール不良群の使用薬剤を把握し、血糖コントロール不良のリスク因子を知ることによって低血糖や高血糖による合併症を防ぐ。 | | |
| 9. 研究の方法 （使用・提供する資料等 および外部に提供する場 合の方法等） | 本課題に同意を得られた患者さんの入院時点での年齢、性別、身長、体重、使用薬剤を確認し、採血データから血糖値の指標であるHbA1c値と血清クレアチニン値を集積いたします。日常診療範囲内での採血であり、本研究に使用するのは原則入院開始1週間以内の採血データとなります。保険診療の関係上入院前の直近1ヶ月までのデータを使用する可能性もあります。その後認知・生活機能質問票（DASC-8）に回答していただきその結果も集積いたします。得られたデータは番号化し匿名の上、弘前中央病院へとFAXにて送信いたします。 | | |
| 10. 個人情報の保護 | 患者データは誰の資料・情報であるか直ちに判別できないように加工され（匿名化）、各研究者へ配布される。データの利用範囲は、本研究に関する解析目的とし、本研究グループに限定する。本研究の成果を学会や学術雑誌等で公表する場合には、個人が特定できる情報を含めない。 | | |
| 11. 利益相反に関する状況 | 研究責任者および全ての共同研究者に対して、本課題と直接関係のある営利企業などからの資金源提供はない。 | | |
| 12. 連絡先 | 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 薬剤師長 鳥谷部 翔 | | |
| | 電話 | 0172-28-8220 | FAX 0172-28-7780 |